

R18





きみと 
珈琲を

Lucifer × Sandalphon

きみと
珈琲を



Lucifer × Sandalphon

飲むと勃起し性欲がとまらなくなる珈琲を
それと知らずに手に入れてしまった
無垢なサンダルフォンのお話です。



ありがとうございます
サンダルフオン
君は飲まないのかい？

オレの「オレ」!!
貴重なものですから
ぜひルシフェル様にと
思い出して...

ぜひ飲んで
いただきたくて

あの：珈琲を
珍しい：入れたので
手に

どうぞ
ルシフェル様



え、
ルシフェル様っ!?

...これは

そうか...
では
いただこう

ただの珈琲では
ない…!?

まずいな…

どうしたんですか？
ルシフェル様っ

お体の具合が？

いや…平気だよ

でも…
お辛そうですっ

色もあらい

汗が…
こんなに

やめるんだっ
サンダルフォン!!

…っ!?



…すまない
大きな声をして
出したって

いえっ!!



その…
この珈琲と私の相性が
よくなかったようですね

ちよつと
体に不具合が
でたようだ

不具合…?
そんなっ



俺がちゃんと
確認するべきでした…

でも不具合って…



ルシ…っ
!!!!

!

あせ…

見ないでくれ
ンダルフオン

もこっ

俺はなんてことをつ
清廉潔白な貴方に…

邪悪な珈琲を
飲ませてしまう
なんてっ!!

あああああ

お役に立てなかつたああああ

俺を罰し
てくささい
ルシフェル様!!

サンダル

何という
衰しい事を

もつと君との
時間を楽し
みたかったが
これで失礼する

また来るよ

泣かないで
私を愛して
サンダル

でも…
ルシフェル様
俺…俺は…

お役に立てなかつた…
私のために珈琲を
用意してくれよ…
は

そんな君を
どうして罰する
事ができようか

お待ちくださいっ

お、俺…

ルシフェル様の…
熱い…

…ッ





いいから

…でも
お辛そうですっ

私から離れるんだ
サンダルフォン

えっ

俺と…あの…



だから、俺
で役も、俺
お役に立ちたいから
んです！

ルシフェル様は…
こんな俺にいても
優しくしてくれても

ギョッ



優しく

できな
言っ
てい
るか
ら

わか
った
らフ
ォン
今ハ...

そん
な...

ッ!!

嫌
です
っ!

…サンダルフォン

…騒がしいな

どうした
ルシフェル

俺…
ルシフェル様っ

…何か
あったのか



やっとかか：

ああ、あ
清潔白
天司長
様なの

歪んだ顔が見れると
思つたのねえの！

何？
さきほど
アーン

それにしても

サンデイ
よく平気だよねえ

あんな

今にも襲いかかります

みたいな顔した男に
しがみついたりして

いいよなあ……
余裕のない天司長様
に、お話を聞かされて
思ふと興奮しませんか？

フアーさん

そんなことに
興味はない

つれないなあ



ねえ…
俺にもあのコーヒー
くれない？

その気にさせて
あげるよ
フアーさん

…戻るぞ
ベリアル



ルシフェル様…
さっきからずっと
このまま…
離して…
ださらない

もっかして
怒らして
俺が変な事を
言っただから

呼吸も荒いまだし
体温だつて…
早く何とかしないと

俺だつて
子供じゃ
ないんだ…
フーさん

ルシフェル様



あ…あたって…

…!!

あ…あ…

ごうごう…

あの…ルシフェル様
俺は平気ですから

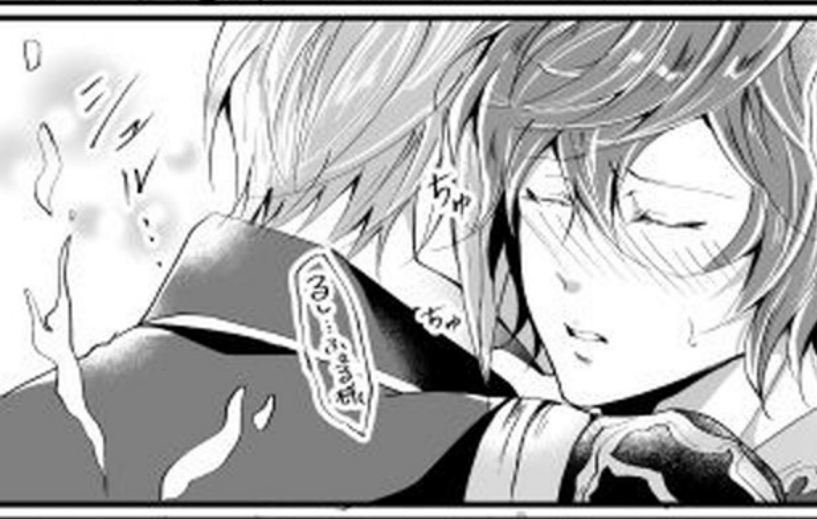
その…
使つてく
つてくださ
さっても

ああ…
そのつもりで此処に
連れてきたんだ

ルシ…

っ

え





ミルシフェル様？



ひゃっ



フルシフェル様！

こんな事で
この子に手を
出すなんて！
なるなんて！

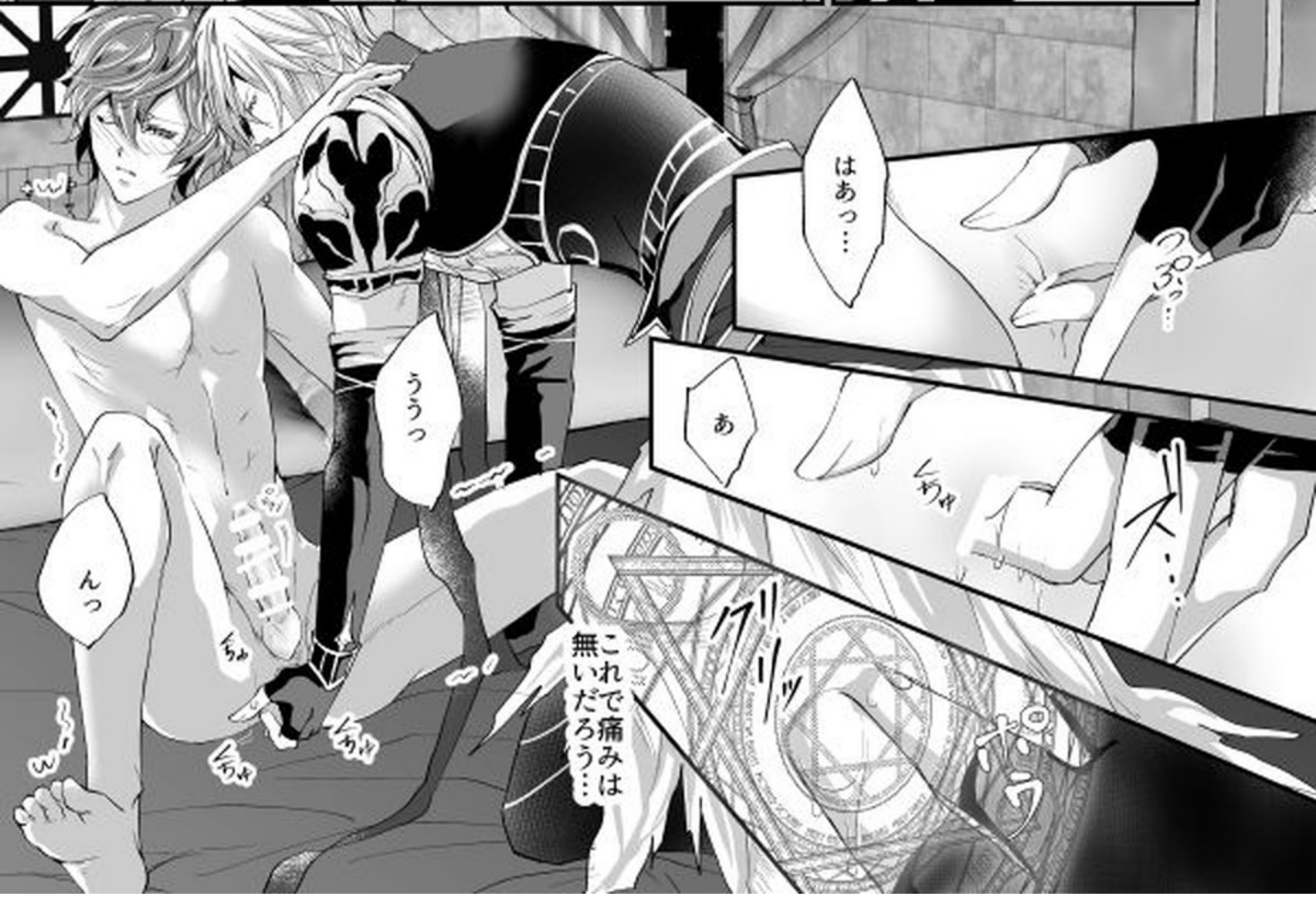
このだ
が衝動を
抑えきれない
自分の衝動を
抑えきれない



せめて…
我を忘れる
前に…



この子に
恐怖を与えたくない



はあっ…

あ

これで痛みは
無いだろう…

んっ

ちゅ

ちゅ

クッ
クッ

クッ
クッ



嬉…
しいです…



ちゃんと
声を出して

すごい
圧迫感...

挿れるぞ
サンダルフォン

っ...!!

ん...っ...





ここは嫌いか？

あ

わ、わかり
ません

ッ
ッ
ッ



ルシフェル様あ…っ

それ…やつ
…さ



す…



俺…なんか
おかしんです



心配する事はない
それは「気持ちいい」
ということだよ

気持ちいい…？

そうだ



そんな
俺…



ほら…

ここも硬くなって
いるだろう?

君の体も
そう言っている



これ以上は
見られたくないッ

サンダルフォン



ちゃんとして
感じてくれて

嬉しく思っ
ているよ

ルシフェル様も…
気持ちいい?

俺と…同じ?

ルシフェル…様



恥ずかしいが
事はない…

私だって
そうだって

あ
キッ



さあ続きをしよう

じりつもの穂やかない



あつ!!

こでもくわない

おれっも...
何か... 出っす

溶けてっ

ああ…

身を任せてごらん
サンダルフォン

あ

すまないが…
もう少し
付き合っ
て欲しい

あああああ…!!

あ





おは...

はっ!!

そろそろオレ
昨日あんまり...



おはよう

ルシフェル様?



ん...

あれ...



あ、ありがとうございます...



これでいい

ぽろり



こんなルシフェル様も俺には...



えっ!?

いいえっ
そんなこと
ないです!

私に失望したか?
サンダルフオン



友よ…

あの
サンの
渡した
のは
君か？


…何の事だ？

楽しんで
かめたか
か
おまかせ
するよ

あーっ
どうだった？
楽しんで
かいたかい？

だが





今後は：
あのよう
な事は
控えて
欲しい



END